

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2014年6月16日から2024年6月5日まで。	
運用方針	投資信託証券を主要投資対象として、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	グローバル・フォーカス (毎月決算型)	①グローバル・フォーカス株式ファンド(適格機関投資家専用)の受益権 ②国内短期公社債マザーファンド受益証券
	グローバル・フォーカス株式ファンド (適格機関投資家専用)	グローバル・フォーカス株式マザーファンドの受益証券。
	国内短期公社債マザーファンド	本邦通貨建ての公社債。
運用方法	以下の投資信託証券を通じて、主として、日本を含む世界の株式に実質的に投資を行い、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 内国証券投資信託 グローバル・フォーカス株式ファンド(適格機関投資家専用)(以下「グローバル・フォーカス・ファンド」といいます。)の受益権 内国証券投資信託(親投資信託) 国内短期公社債マザーファンド受益証券 なお、グローバル・フォーカス・ファンドでは、景気、地域、業種などの外部要因、または企業独自の要因により株価上昇が期待できる銘柄を選定します。各投資信託証券への投資割合は、資金動向や市況動向等を勘案して決定するものとし、グローバル・フォーカス・ファンドの組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
組入制限	グローバル・フォーカス (毎月決算型)	投資信託証券および短期金融商品(短期運用の有価証券を含みます。)以外には投資を行いません。投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
	グローバル・フォーカス株式ファンド (適格機関投資家専用)	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	国内短期公社債マザーファンド	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利息・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。分配金額は、投資信託証券からの分配金水準等を参考に委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された

販売会社にお問い合わせください。

運用報告書(全体版)

グローバル・フォーカス(毎月決算型)

第109期	<決算日	2023年7月5日>
第110期	<決算日	2023年8月7日>
第111期	<決算日	2023年9月5日>
第112期	<決算日	2023年10月5日>
第113期	<決算日	2023年11月6日>
第114期	<決算日	2023年12月5日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「グローバル・フォーカス(毎月決算型)」は、2023年12月5日に第114期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<https://www.am-one.co.jp/>

グローバル・フォーカス（毎月決算型）

■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			債券組入 比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
		(分配落)	税 分 込 配 金	騰 落 率			
		円	円	%	%	%	百万円
第15作成期	85期(2021年7月5日)	6,851	20	3.0	-	96.5	2,772
	86期(2021年8月5日)	6,826	20	△0.1	-	97.0	2,690
	87期(2021年9月6日)	7,044	20	3.5	-	96.5	2,723
	88期(2021年10月5日)	6,785	20	△3.4	-	96.4	2,595
	89期(2021年11月5日)	7,315	20	8.1	-	96.0	2,752
	90期(2021年12月6日)	6,911	20	△5.2	-	95.7	2,573
第16作成期	91期(2022年1月5日)	7,328	20	6.3	-	97.4	2,687
	92期(2022年2月7日)	6,781	20	△7.2	-	97.1	2,452
	93期(2022年3月7日)	6,425	20	△5.0	-	97.3	2,314
	94期(2022年4月5日)	7,017	20	9.5	-	97.0	2,478
	95期(2022年5月6日)	6,907	20	△1.3	-	98.1	2,384
	96期(2022年6月6日)	6,787	20	△1.4	-	96.9	2,343
第17作成期	97期(2022年7月5日)	6,462	20	△4.5	-	96.7	2,153
	98期(2022年8月5日)	6,939	20	7.7	-	97.7	2,293
	99期(2022年9月5日)	6,690	20	△3.3	-	97.0	2,195
	100期(2022年10月5日)	6,353	20	△4.7	-	96.7	2,062
	101期(2022年11月7日)	6,446	20	1.8	-	96.9	2,003
	102期(2022年12月5日)	6,698	20	4.2	-	97.9	2,027
第18作成期	103期(2023年1月5日)	6,211	20	△7.0	-	97.8	1,853
	104期(2023年2月6日)	6,712	20	8.4	-	97.0	1,976
	105期(2023年3月6日)	6,742	20	0.7	-	97.0	1,964
	106期(2023年4月5日)	6,757	20	0.5	0.0	97.4	1,935
	107期(2023年5月8日)	7,132	20	5.8	0.0	97.1	2,005
	108期(2023年6月5日)	7,142	20	0.4	0.0	97.7	1,972
第19作成期	109期(2023年7月5日)	7,576	20	6.4	0.0	96.5	2,054
	110期(2023年8月7日)	7,395	20	△2.1	0.0	97.5	1,962
	111期(2023年9月5日)	7,597	20	3.0	0.0	97.7	1,959
	112期(2023年10月5日)	7,207	20	△4.9	0.0	96.8	1,819
	113期(2023年11月6日)	7,339	20	2.1	0.0	96.9	1,830
	114期(2023年12月5日)	7,723	20	5.5	0.0	97.2	1,914

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注4) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

(注5) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

■過去6ヶ月間の基準価額の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債 券 組 入 率	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		円	騰 落 率		
第109期	(期首) 2023年6月5日	7,142	—	0.0	97.7
	6月末	7,534	5.5	0.0	93.8
	(期末) 2023年7月5日	7,596	6.4	0.0	96.5
第110期	(期首) 2023年7月5日	7,576	—	0.0	96.5
	7月末	7,398	△2.3	0.0	96.9
	(期末) 2023年8月7日	7,415	△2.1	0.0	97.5
第111期	(期首) 2023年8月7日	7,395	—	0.0	97.5
	8月末	7,609	2.9	0.0	97.3
	(期末) 2023年9月5日	7,617	3.0	0.0	97.7
第112期	(期首) 2023年9月5日	7,597	—	0.0	97.7
	9月末	7,292	△4.0	0.0	96.5
	(期末) 2023年10月5日	7,227	△4.9	0.0	96.8
第113期	(期首) 2023年10月5日	7,207	—	0.0	96.8
	10月末	7,110	△1.3	0.0	96.5
	(期末) 2023年11月6日	7,359	2.1	0.0	96.9
第114期	(期首) 2023年11月6日	7,339	—	0.0	96.9
	11月末	7,724	5.2	0.0	93.1
	(期末) 2023年12月5日	7,743	5.5	0.0	97.2

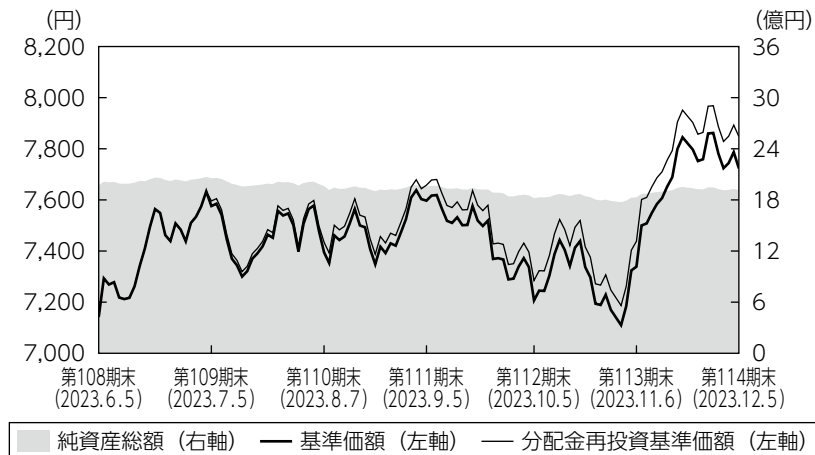
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

■第109期～第114期の運用経過（2023年6月6日から2023年12月5日まで）

基準価額等の推移



第109期首： 7,142円
第114期末： 7,723円
(既払分配金120円)
騰落率： 9.9%
(分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

グローバル株式市場は、堅調な米国経済や企業決算を好感し、上昇しました。また、生成AI（人工知能）への期待から関連銘柄が物色されたことや、欧米でインフレ鈍化の兆候が見られ長期金利が低下したことも、相場の上昇要因となりました。また、米ドルやユーロが対円で上昇しました。これらを受け、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

投資環境

グローバル株式市場は上昇しました。作成期初は、米国の堅調な経済指標や良好な企業決算が好感されたほか、インフレ鈍化により利上げサイクルが終焉に近いとの見方が広がり、上昇しました。8月以降は、大手格付会社による米国債の格付け引き下げや米欧における長期金利の上昇に加え、中国の景気減速懸念などを背景に下落しました。その後は、欧米のインフレ鈍化を受け長期金利が低下したことなどから、上昇基調で推移しました。

為替市場では、米ドルに対して円安が進行しました。日銀が7月の金融政策決定会合で長短金利操作（イールドカーブ・コントロール）の修正案を議論すると報じられたことが一時的な円高要因になりましたが、堅調な米国経済や日米の金融政策の方向性の違いを反映し、11月半ばまでは概ね円安基調で推移しました。作成期末にかけては、F R B（米連邦準備理事会）の早期利下げ観測などから米長期金利が低下し、円高基調で推移しました。

国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りは日銀がマイナス金利政策を含む大規模な金融緩和政策を継続している影響により、マイナス圏で推移しました。

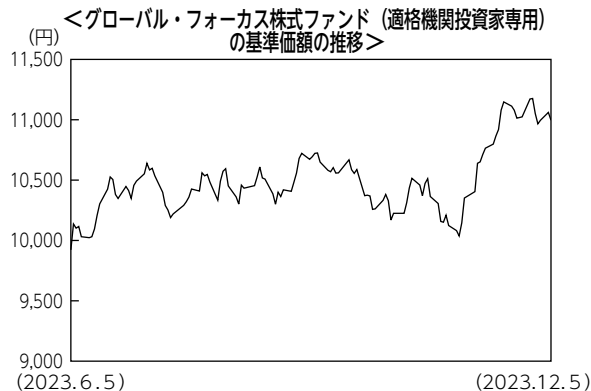
ポートフォリオについて

●当ファンド

国内投資信託のグローバル・フォーカス株式ファンド（適格機関投資家専用）の組入比率は高位を維持するとともに、国内短期公社債マザーファンドへの投資も行いました。

●グローバル・フォーカス株式ファンド（適格機関投資家専用）

グローバル・フォーカス株式マザーファンドを通じて主として日本を含む世界各国の株式に投資し、株式への実質投資割合は高位を保ちました。地域・国別に見ると、米国のほか、イギリス、スイスなど欧州地域への配分を厚めにする一方、アジア地域への配分は抑えました。セクター別では、情報技術、金融、生活必需品などのセクターにおいて、相対的に魅力的と考える銘柄に重点的に投資しました。



※基準価額は、当作成期間における分配金を再投資したものとみなして計算しています。

●国内短期公社債マザーファンド

残存期間の短い地方債などで運用を行いました。

分配金

収益分配金につきましては運用実績・分配原資等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期
	2023年6月6日 ～2023年7月5日	2023年7月6日 ～2023年8月7日	2023年8月8日 ～2023年9月5日	2023年9月6日 ～2023年10月5日	2023年10月6日 ～2023年11月6日	2023年11月7日 ～2023年12月5日
当期分配金（税引前）	20円	20円	20円	20円	20円	20円
対基準価額比率	0.26%	0.27%	0.26%	0.28%	0.27%	0.26%
当期の収益	20円	20円	20円	20円	20円	20円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	3,185円	3,186円	3,194円	3,196円	3,204円	3,542円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続きグローバル・フォーカス株式ファンド（適格機関投資家専用）を通じて、日本を含む世界の株式のうち、景気、地域、業種などの外部要因または企業独自の要因により株価上昇が期待される銘柄に実質的に投資を行うことで、投資信託財産の成長を目指して運用を行います。また、国内短期公社債マザーファンドへの投資も行います。

●グローバル・フォーカス株式ファンド（適格機関投資家専用）

グローバル株式市場は、各国の金融政策を巡る思惑や経済成長減速に伴う企業業績への懸念などから、不安定な展開となる可能性があります。引き続き、グローバル・フォーカス株式マザーファンドを通じて、主として日本を含む世界各国の株式に投資し、株式への実質投資割合は高位に保ちます。株式への投資にあたっては、先行きのファンダメンタルズが良好でバリュエーションが魅力的な銘柄を見極めて銘柄選択を行います。

●国内短期公社債マザーファンド

日銀は消費者物価指数が前年比2%の上昇となる物価安定の目標達成に向け、引き続き緩和的な金融政策を継続していくと予想しています。そのため、今後も公社債などへの投資を通じて、安定的な運用を目指します。

■ 1万口当たりの費用明細

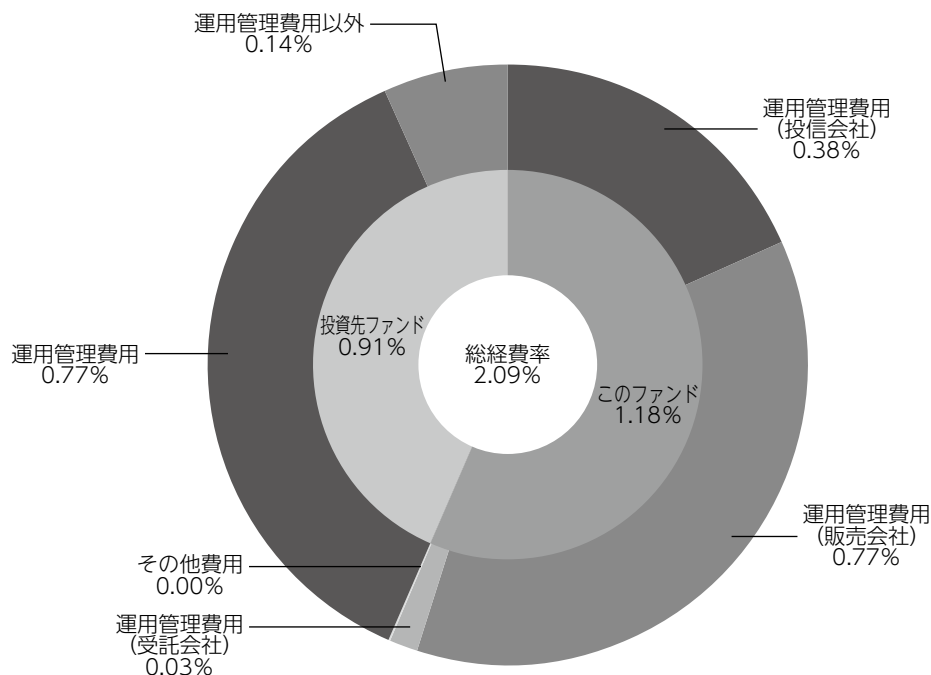
項目	第109期～第114期 (2023年6月6日 ～2023年12月5日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	44円	
(投信会社)	(14)	(0.192)	
(販売会社)	(29)	(0.384)	
(受託会社)	(1)	(0.016)	
(b) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	44	0.594	

- (注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
- (注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
- (注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.09%です。



総経費率 (①+②+③)	2.09%
①このファンドの費用の比率	1.18%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.77%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.14%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況（2023年6月6日から2023年12月5日まで）

投資信託受益証券

		第 109 期 ~ 第 114 期			
		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
国		千□	千円	千□	千円
内	グローバル・フォーカス株式ファンド （適格機関投資家専用）	125,161.86	125,000	187,068.266	186,000

（注）金額は受渡代金です。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2023年6月6日から2023年12月5日まで）

期中の親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

■利害関係人との取引状況等（2023年6月6日から2023年12月5日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	第 18 作 成 期 末		第 19 作 成 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額	比 率
	千□	千□	千円	%
グローバル・フォーカス株式ファンド（適格機関投資家専用）	1,942,650.393	1,880,743.987	1,860,808	97.2
合 計	1,942,650.393	1,880,743.987	1,860,808	97.2

（注）比率欄は純資産総額に対する比率です。

(2) 親投資信託残高

	第 18 作 成 期 末		第 19 作 成 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額	
	千□	千□	千円	
国内短期公社債マザーファンド	39	39	39	

■投資信託財産の構成

2023年12月5日現在

項 目	第 19 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 1,860,808	% 96.8
国内短期公社債マザーファンド	39	0.0
コール・ローン等、その他	60,489	3.1
投 資 信 託 財 産 総 額	1,921,338	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年7月5日)、(2023年8月7日)、(2023年9月5日)、(2023年10月5日)、(2023年11月6日)、(2023年12月5日)現在

項 目	第109期末	第110期末	第111期末	第112期末	第113期末	第114期末
(A) 資 産	2,062,228,804円	1,972,088,681円	1,968,061,934円	1,826,803,940円	1,837,339,154円	1,921,338,056円
コール・ローン等	78,543,667	58,775,785	52,949,304	65,863,561	63,584,172	60,489,972
投資信託受益証券(評価額)	1,983,645,153	1,913,272,912	1,915,072,646	1,760,900,395	1,773,714,998	1,860,808,100
国内短期公社債マザーファンド(評価額)	39,984	39,984	39,984	39,984	39,984	39,984
(B) 負 債	7,399,384	9,162,712	8,202,690	6,928,055	6,909,904	6,768,209
未払収益分配金	5,424,793	5,308,984	5,159,327	5,050,590	4,987,940	4,958,298
未払解約金	2	1,710,143	1,214,236	13,406	18,867	1,900
未払信託報酬	1,969,735	2,138,314	1,824,631	1,859,476	1,898,422	1,803,569
その他未払費用	4,854	5,271	4,496	4,583	4,675	4,442
(C) 純資産総額(A-B)	2,054,829,420	1,962,925,969	1,959,859,244	1,819,875,885	1,830,429,250	1,914,569,847
元 本	2,712,396,981	2,654,492,245	2,579,663,936	2,525,295,475	2,493,970,351	2,479,149,125
次期繰越損益金	△657,567,561	△691,566,276	△619,804,692	△705,419,590	△663,541,101	△564,579,278
(D) 受 益 権 総 口 数	2,712,396,981口	2,654,492,245口	2,579,663,936口	2,525,295,475口	2,493,970,351口	2,479,149,125口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,576円	7,395円	7,597円	7,207円	7,339円	7,723円

(注) 第108期末における元本額は2,761,007,579円、当作成期間(第109期～第114期)中における追加設定元本額は10,215,049円、同解約元本額は292,073,503円です。

■損益の状況

〔自 2023年6月6日〕〔自 2023年7月6日〕〔自 2023年8月8日〕〔自 2023年9月6日〕〔自 2023年10月6日〕〔自 2023年11月7日〕
 至 2023年7月5日 至 2023年8月7日 至 2023年9月5日 至 2023年10月5日 至 2023年11月6日 至 2023年12月5日

項 目	第 109 期	第 110 期	第 111 期	第 112 期	第 113 期	第 114 期
(A) 配 当 等 収 益	78,774,083円	7,708,013円	7,508,159円	7,436,735円	7,219,114円	90,226,894円
受 取 配 当 金	78,777,627	7,710,205	7,510,915	7,438,479	7,219,703	90,227,592
受 取 利 息	13	5	6	19	3	1
支 払 利 息	△3,557	△2,197	△2,762	△1,763	△592	△699
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	46,149,294	△48,287,622	51,745,441	△99,199,079	32,798,464	11,440,771
売 買 益	47,147,434	942,127	52,089,073	831,738	32,862,802	12,093,098
売 買 損	△998,140	△49,229,749	△343,632	△100,030,817	△64,338	△652,327
(C) 信 託 報 酬 等	△1,974,589	△2,143,585	△1,829,127	△1,864,059	△1,903,097	△1,808,011
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	122,948,788	△42,723,194	57,424,473	△93,626,403	38,114,481	99,859,654
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	316,535,374	424,617,594	365,842,473	409,154,473	306,525,965	336,903,553
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△1,091,626,930	△1,068,151,692	△1,037,912,311	△1,015,897,070	△1,003,193,607	△996,384,187
(配 当 等 相 当 額)	(329,586,566)	(322,766,915)	(313,844,340)	(307,402,191)	(303,749,962)	(303,101,729)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△1,421,213,496)	(△1,390,918,607)	(△1,351,756,651)	(△1,323,299,261)	(△1,306,943,569)	(△1,299,485,916)
(G) 合 計 (D+E+F)	△652,142,768	△686,257,292	△614,645,365	△700,369,000	△658,553,161	△559,620,980
(H) 収 益 分 配 金	△5,424,793	△5,308,984	△5,159,327	△5,050,590	△4,987,940	△4,958,298
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△657,567,561	△691,566,276	△619,804,692	△705,419,590	△663,541,101	△564,579,278
追 加 信 託 差 損 益 金	△1,091,626,930	△1,068,151,692	△1,037,912,311	△1,015,897,070	△1,003,193,607	△996,384,187
(配 当 等 相 当 額)	(329,586,566)	(322,766,915)	(313,844,340)	(307,402,191)	(303,749,962)	(303,101,729)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△1,421,213,496)	(△1,390,918,607)	(△1,351,756,651)	(△1,323,299,261)	(△1,306,943,569)	(△1,299,485,916)
分 配 準 備 積 立 金	534,451,377	523,081,300	510,276,322	499,871,615	495,397,505	575,052,034
繰 越 損 益 金	△100,392,008	△146,495,884	△92,168,703	△189,394,135	△155,744,999	△143,247,125

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	第 109 期	第 110 期	第 111 期	第 112 期	第 113 期	第 114 期
(a) 経費控除後の配当等収益	77,528,915円	5,564,437円	7,276,417円	5,572,684円	6,875,805円	88,622,293円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収 益 調 整 金	329,586,566	322,766,915	313,844,340	307,402,191	303,749,962	303,101,729
(d) 分 配 準 備 積 立 金	462,347,255	522,825,847	508,159,232	499,349,521	493,509,640	491,388,039
(e) 当 期 分 配 対 象 額 (a+b+c+d)	869,462,736	851,157,199	829,279,989	812,324,396	804,135,407	883,112,061
(f) 1万口当たり当期分配対象額	3,205.51	3,206.48	3,214.68	3,216.75	3,224.32	3,562.16
(g) 分 配 金	5,424,793	5,308,984	5,159,327	5,050,590	4,987,940	4,958,298
(h) 1万口当たり分配金	20	20	20	20	20	20

■分配金のお知らせ

決算期	第 109 期	第 110 期	第 111 期	第 112 期	第 113 期	第 114 期
1 万口当たり分配金	20円	20円	20円	20円	20円	20円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

グローバル・フォーカス株式ファンド（適格機関投資家専用）

≪第107期≫ 決算日2023年2月27日 ≪第108期≫ 決算日2023年3月27日
 ≪第109期≫ 決算日2023年4月27日 ≪第110期≫ 決算日2023年5月29日
 ≪第111期≫ 決算日2023年6月27日 ≪第112期≫ 決算日2023年7月27日

本ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	株式投資信託
信託期間	2024年6月27日まで。
運用方針	<p>①主としてグローバル・フォーカス株式マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券に投資し、原則として、その組入比率は高位に保ちます（ただし、投資環境などにより、当該受益証券の組入比率を引き下げる場合もあります。）。</p> <p>②投資信託財産は、マザーファンドを通じて主として日本を含む世界各国の株式に投資し、株式への実質投資割合は、原則として高位に保ちます。ただし、効率的なポートフォリオの構築または流動性の確保のため、株価指数先物取引などのデリバティブ取引および特定の株式または株価指数の値動きとの連動を目指す仕組債に投資する場合があります。</p> <p>③株式の投資にあたっては、景気、地域、業種などの外部要因、または企業独自の要因により株価上昇が期待される銘柄に着目した銘柄選択を行います。</p> <p>④実質外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。</p> <p>⑤ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・インターナショナルおよびゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント（シンガポール）ピーティーイー・リミテッドに株式の運用（デリバティブ取引などにかかる運用を含みます。）の指図に関する権限を委託します。</p> <p>⑥投資状況に応じ、マザーファンドと同様の運用を行うこともあります。</p> <p>⑦市況動向や資金動向その他の要因などによっては、運用方針にしたがった運用ができない場合があります。</p>
分配方針	<p>毎計算期末に原則として以下の方針に基づき収益分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益および売買損益（評価損益を含みます。）などの範囲内とします。</p> <p>②分配金額は、基準価額水準、市場動向などを勘案して決定します。ただし、基準価額水準、市場動向などによっては分配を行わないこともあります。また、基準価額が当初元本を下回る場合においても分配を行うことがあります。</p> <p>③収益分配にあてず投資信託財産内に留保した利益については、特に制限を設けず、元本部分と同様に運用の基本方針に基づき運用を行います。</p>

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

■最近30期の運用実績

決算期	基準価額			株式組入比率	債券組入比率	株式先物比率	債券先物比率	純資産額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率					
83期 (2021年3月1日)	円 9,947	円 500	% 4.1	% 96.9	% -	% -	% -	百万円 2,418
84期 (2021年3月29日)	10,140	248	4.4	96.2	-	-	-	2,518
85期 (2021年4月27日)	10,066	500	4.2	96.9	-	-	-	2,519
86期 (2021年5月27日)	10,166	195	2.9	96.9	-	-	-	2,614
87期 (2021年6月28日)	10,154	364	3.5	97.9	-	-	-	2,617
88期 (2021年7月27日)	10,138	157	1.4	98.6	-	-	-	2,627
89期 (2021年8月27日)	10,062	177	1.0	98.7	-	-	-	2,578
90期 (2021年9月27日)	10,046	154	1.4	99.8	-	-	-	2,574
91期 (2021年10月27日)	10,143	269	3.6	97.0	-	-	-	2,599
92期 (2021年11月29日)	9,657	154	△3.3	98.4	-	-	-	2,474
93期 (2021年12月27日)	10,024	40	4.2	98.4	-	-	-	2,568
94期 (2022年1月27日)	9,176	40	△8.1	99.1	-	-	-	2,316
95期 (2022年2月28日)	9,162	40	0.3	99.0	-	-	-	2,313
96期 (2022年3月28日)	9,552	40	4.7	98.3	-	-	-	2,379
97期 (2022年4月27日)	9,443	40	△0.7	97.2	-	-	-	2,301
98期 (2022年5月27日)	9,002	40	△4.2	98.4	-	-	-	2,167
99期 (2022年6月27日)	9,186	40	2.5	97.2	-	-	-	2,184
100期 (2022年7月27日)	9,303	40	1.7	99.7	-	-	-	2,160
101期 (2022年8月29日)	9,467	40	2.2	97.3	-	-	-	2,170
102期 (2022年9月27日)	8,675	40	△7.9	98.2	-	-	-	1,988
103期 (2022年10月27日)	9,243	40	7.0	97.5	-	-	-	2,057
104期 (2022年11月28日)	9,405	40	2.2	96.9	-	-	-	2,006
105期 (2022年12月27日)	8,701	40	△7.1	97.9	-	-	-	1,832
106期 (2023年1月27日)	9,086	40	4.9	99.6	-	-	-	1,889
107期 (2023年2月27日)	9,280	40	2.6	98.3	-	-	-	1,910
108期 (2023年3月27日)	8,934	40	△3.3	97.9	-	-	-	1,796
109期 (2023年4月27日)	9,463	40	6.4	99.2	-	-	-	1,858
110期 (2023年5月29日)	10,040	40	6.5	97.3	-	-	-	1,950
111期 (2023年6月27日)	9,935	414	3.1	96.1	-	-	-	1,890
112期 (2023年7月27日)	10,024	40	1.3	96.3	-	-	-	1,935

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 株式先物比率、債券先物比率は買建比率-売建比率。

(注3) 本ファンドは親投資信託を組み入れますので、株式組入比率、債券組入比率、株式先物比率、債券先物比率は、実質比率を記載しておりません。

■過去6ヵ月間の基準価額の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		株 式 組 入 比 率	債 券 組 入 比 率	株 先 物 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率					
第107期	(期 首) 2023年1月27日	円	%	%	%	%	%
	1月末	9,086	—	99.6	—	—	—
	(期 末) 2023年2月27日	9,101	0.2	96.9	—	—	—
第108期	(期 首) 2023年2月27日	9,320	2.6	98.3	—	—	—
	2月末	9,280	—	98.3	—	—	—
	(期 末) 2023年3月27日	9,336	0.6	98.3	—	—	—
第109期	(期 首) 2023年3月27日	8,974	△3.3	97.9	—	—	—
	3月末	8,934	—	97.9	—	—	—
	(期 末) 2023年4月27日	9,346	4.6	97.9	—	—	—
第110期	(期 首) 2023年4月27日	9,503	6.4	99.2	—	—	—
	4月末	9,463	—	99.2	—	—	—
	(期 末) 2023年5月29日	9,616	1.6	99.2	—	—	—
第111期	(期 首) 2023年5月29日	10,080	6.5	97.3	—	—	—
	5月末	10,040	—	97.3	—	—	—
	(期 末) 2023年6月27日	9,903	△1.4	97.3	—	—	—
第112期	(期 首) 2023年6月27日	10,349	3.1	96.1	—	—	—
	6月末	9,935	—	96.1	—	—	—
	(期 末) 2023年7月27日	10,130	2.0	97.0	—	—	—
		10,064	1.3	96.3	—	—	—

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 株式先物比率、債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注3) 本ファンドは親投資信託を組み入れますので、株式組入比率、債券組入比率、株式先物比率、債券先物比率は、実質比率を記載していません。

■当作成期間中の投資環境（2023年1月28日～2023年7月27日）

当期の世界株式市場は上昇しました。米国を中心にインフレと金融政策動向に引き続き市場の注目が集まるとともに、高金利政策による景気への影響が焦点となりました。米地銀破綻をきっかけに市場の警戒感が高まったものの、金融当局などの迅速な対応により市場への影響は限定的となりました。その後市場では、生成AIへの関心度の高まりや大手半導体企業の好決算をきっかけに、AI関連銘柄や半導体関連銘柄の株価が大きく上昇したことが注目されました。その後市場は期末にかけて堅調に推移したものの、米国での利上げへの警戒感の高まりや長期金利の上昇、米中関係悪化によるハイテク産業への規制強化、中国の景気悪化懸念などが市場の重石となりました。

■グローバル・フォーカス株式ファンド（適格機関投資家専用）の運用経過

当期中、グローバル・フォーカス株式マザーファンドを高位に組み入れました。

■今後の運用方針

今後も引き続きグローバル・フォーカス株式マザーファンドを高位に組み入れ、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。

■グローバル・フォーカス株式マザーファンドの運用経過

期中、エヌビディアやアルファベット、マイクロソフトなどがプラスに寄与した一方、ウォルト・ディズニー・カンパニーやパーリントン・ストアーズ、DSMフィルメニッヒなどがマイナスに寄与しました。

■市場見通しとマザーファンドの今後の運用方針（2023年7月27日時点）

昨年は、ウクライナ危機による地政学リスクの高まり、インフレ圧力、各国中央銀行による金融引き締めなどにより、株式市場は大きく調整し、上値の重い展開が続きました。昨年後半以降、株式市場は回復を見せており、足元では、インフレ鈍化の見方も形成されつつあり、欧米における利上げも最終局面にあるとの期待が広がる一方で、根強いインフレによる金融引き締めの長期化に対する懸念も残っています。また、今後は経済成長の減速による企業業績への影響も懸念されます。このような投資環境に鑑みると、企業業績を慎重に見極めた上での銘柄選択が重要な局面が継続するものと考えます。当戦略においては、引き続き、投資方針に基づき、ボトムアップの銘柄選択により、先行きのファンダメンタルズが良好でバリュエーションが魅力的な銘柄に投資していきます。

当ファンドの運用は個別銘柄選択が収益の源泉となるボトムアップ運用ではありますが、地域・国別に見ると、欧米地域の銘柄への配分を厚めにしています。一方で、アジアへの配分は抑えめにしています。当社では、ファンダメンタルズの改善余地が相対的に大きいものの、株価はそれを十分に織り込んでいない銘柄が欧米地域に多いと考えているためです。セクター別では、業績見通しが良好な情報技術や、安定的な業績が見込まれる消費関連セクターなどにおいて、相対的に魅力的な銘柄に重点的に投資しています。

※上記方針は2023年7月27日現在のものであり、今後変更される場合があります。

■ 1万口当たりの費用明細（2023年1月28日～2023年7月27日）

項 目	第107期～第112期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬 (投信会社)	円 38 (37)	% 0.393 (0.382)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価
(販売会社)	(0)	(0.001)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価
(受託会社)	(1)	(0.010)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株 式)	2 (2)	0.018 (0.018)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (株 式)	0 (0)	0.000 (0.000)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用)	7 (3)	0.072 (0.026)	(d) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 ・海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	・監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(4)	(0.043)	・信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	47	0.483	
作成期間の平均基準価額は、9,572円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

なお、(b)売買委託手数料、(c)有価証券取引税、(d)その他費用は、本ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、本ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2023年1月28日から2023年7月27日）

銘 柄	第 107 期 ~ 第 112 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
グローバル・フォーカス株式マザーファンド	千□ 10,345	千円 50,000	千□ 71,318	千円 318,574

■親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	第 107 期 ~ 第 112 期
	グローバル・フォーカス株式マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	744,430千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	1,863,174千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	0.39

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

■主要な売買銘柄

<グローバル・フォーカス株式マザーファンド>
株式

	第 107 期 ~ 第 112 期							
	買 付				売 付			
	銘 柄	株数	金額	平均単価	銘 柄	株数	金額	平均単価
1	WASTE MANAGEMENT INC(アメリカ)	千株 2	千円 56,374	円 22,012	NVIDIA CORP(アメリカ)	千株 1	千円 54,797	円 42,119
2	UBS GROUP AG-REG(スイス)	13	36,567	2,771	AMADEUS IT GROUP SA(ユーロ・スペイン)	6	51,789	8,255
3	PROCTER & GAMBLE CO/THE(アメリカ)	1	26,331	17,986	BANCO BILBAO VIZCAYA ARGENTA(ユーロ・スペイン)	45	46,086	1,010
4	AMERICAN TOWER CORP(アメリカ)	0.807	22,406	27,765	FERGUSON PLC(イギリス)	1	34,175	19,385
5	ACCENTURE PLC-CL A(アメリカ)	0.501	22,245	44,402	ALPHABET INC-CL A(アメリカ)	1	33,151	16,974
6	ALPHABET INC-CL A(アメリカ)	1	20,519	11,826	MICROSOFT CORP(アメリカ)	0.837	32,015	38,250
7	DSM-FIRMENICH AG(ユーロ・スイス)	0.966	15,043	15,572	BURLINGTON STORES INC(アメリカ)	0.848	21,403	25,239
8	KONINKLIJKE DSM NV(ユーロ・オランダ)	0.888	14,776	16,639	ASTRAZENECA PLC(イギリス)	0.742	14,372	19,369
9					BOSTON SCIENTIFIC CORP(アメリカ)	1	13,694	7,029
10					S&P GLOBAL INC(アメリカ)	0.252	12,889	51,148

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額・平均単価の単位未満は切り捨て。

■利害関係人との取引状況等（2023年1月28日から2023年7月27日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細（2023年7月27日現在）

親投資信託残高

銘	柄	第106期末	第 112 期 末	
		□ 数	□ 数	評 価 額
		千□	千□	千円
グローバル・フォーカス株式マザーファンド		465,782	404,810	1,944,872

■投資信託財産の構成（2023年7月27日現在）

項 目	第 112 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
グローバル・フォーカス株式マザーファンド	1,944,872	100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	1,944,872	100.0

（注1）グローバル・フォーカス株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（1,848,940千円）の投資信託財産総額（1,944,871千円）に対する比率は95.1%です。

（注2）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、決算日における邦貨換算レートは、1米ドル=140.34円、1ユーロ=155.48円、1英ポンド=181.54円、1スイスフラン=163.02円、1スウェーデンクローナ=13.50円、1オーストラリアドル=94.97円、1香港ドル=17.99円、1インドルピー=1.72円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第107期末	第108期末	第109期末	第110期末	第111期末	第112期末
	2023年2月27日現在	2023年3月27日現在	2023年4月27日現在	2023年5月29日現在	2023年6月27日現在	2023年7月27日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資 産	1,919,726,779	1,806,036,359	1,892,018,737	1,959,520,170	1,970,538,595	1,944,872,344
グローバル・フォーカス 株式マザーファンド(評価額)	1,919,726,779	1,806,036,359	1,868,018,737	1,959,520,170	1,970,538,595	1,944,872,344
未 収 入 金	-	-	24,000,000	-	-	-
(B) 負 債	9,533,307	9,184,432	33,132,156	9,119,324	80,019,978	8,993,421
未払収益分配金	8,233,898	8,045,345	7,857,894	7,770,601	78,778,244	7,724,933
未払解約金	-	-	24,000,000	-	-	-
未払信託報酬	1,289,568	1,130,150	1,264,265	1,338,139	1,231,993	1,258,535
その他未払費用	9,841	8,937	9,997	10,584	9,741	9,953
(C) 純資産総額(A-B)	1,910,193,472	1,796,851,927	1,858,886,581	1,950,400,846	1,890,518,617	1,935,878,923
元 本	2,058,474,687	2,011,336,371	1,964,473,624	1,942,650,393	1,902,856,158	1,931,233,383
次期繰越損益金	△148,281,215	△214,484,444	△105,587,043	7,750,453	△12,337,541	4,645,540
(D) 受 益 権 総 口 数	2,058,474,687口	2,011,336,371口	1,964,473,624口	1,942,650,393口	1,902,856,158口	1,931,233,383口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,280円	8,934円	9,463円	10,040円	9,935円	10,024円

(注) 当作成期首元本額2,079,940,824円、当作成期中追加設定元本額49,358,342円、当作成期中一部解約元本額198,065,783円。

■損益の状況

項 目	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期
	2023年1月28日～ 2023年2月27日	2023年2月28日～ 2023年3月27日	2023年3月28日～ 2023年4月27日	2023年4月28日～ 2023年5月29日	2023年5月30日～ 2023年6月27日	2023年6月28日～ 2023年7月27日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	49,446,398	△60,414,423	113,032,281	121,283,806	60,090,742	25,209,149
売 買 益	49,942,692	734,218	116,166,643	122,633,589	61,137,751	25,353,730
売 買 損	△496,294	△61,148,641	△3,134,362	△1,349,783	△1,047,009	△144,581
(B) 信 託 報 酬 等	△1,299,409	△1,139,087	△1,274,262	△1,348,723	△1,241,734	△1,268,488
(C) 当期損益金(A+B)	48,146,989	△61,553,510	111,758,019	119,935,083	58,849,008	23,940,661
(D) 前期繰越損益金	△60,580,938	△20,194,555	△87,701,312	16,018,854	125,557,662	104,493,248
(E) 追加信託差損益金	△127,613,368	△124,691,034	△121,785,856	△120,432,883	△117,965,967	△116,063,436
(配当等相当額)	(146,612,073)	(143,254,669)	(139,916,975)	(138,362,576)	(135,528,393)	(140,260,253)
(売買損益相当額)	(△274,225,441)	(△267,945,703)	(△261,702,831)	(△258,795,459)	(△253,494,360)	(△256,323,689)
(F) 計 (C+D+E)	△140,047,317	△206,439,099	△97,729,149	15,521,054	66,440,703	12,370,473
(G) 収 益 分 配 金	△8,233,898	△8,045,345	△7,857,894	△7,770,601	△78,778,244	△7,724,933
次期繰越損益金(F+G)	△148,281,215	△214,484,444	△105,587,043	7,750,453	△12,337,541	4,645,540
追加信託差損益金	△127,613,368	△124,691,034	△121,785,856	△120,432,883	△117,965,967	△116,063,436
(配当等相当額)	(146,612,073)	(143,254,669)	(139,916,975)	(138,362,576)	(135,528,393)	(140,260,253)
(売買損益相当額)	(△274,225,441)	(△267,945,703)	(△261,702,831)	(△258,795,459)	(△253,494,360)	(△256,323,689)
分配準備積立金	43,443,889	34,866,536	28,573,127	128,183,336	105,628,426	120,708,976
繰 越 損 益 金	△64,111,736	△124,659,946	△12,374,314	-	-	-

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 収益分配金の計算過程において、親投資信託の配当等収益を繰入れております。

■分配金のお知らせ

	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期
1万円当たり分配金（税込み）	40円	40円	40円	40円	414円	40円

◇分配金には、課税扱いとなる普通分配金と、非課税扱いとなる元本払戻金（特別分配金）があります。

◇分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの分配金は普通分配金に課税されます。

◇税法が改正された場合等には、上記内容が変更になる場合もあります。

グローバル・フォーカス株式マザーファンド

≪第11期≫ 決算日2023年1月27日

■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		株 式 組 入 比 率	債 券 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 額
	円	騰 落 率					
7期(2019年1月28日)	22,633	△10.2%	98.5%	—%	—%	—%	百万円 4,095
8期(2020年1月27日)	28,432	25.6%	95.5%	—	—	—	3,288
9期(2021年1月27日)	31,972	12.5%	97.0%	—	—	—	2,524
10期(2022年1月27日)	38,776	21.3%	98.6%	—	—	—	2,328
11期(2023年1月27日)	40,778	5.2%	99.1%	—	—	—	1,899

(注) 株式先物比率、債券先物比率は買建比率－売建比率。

■当期中の基準価額と市況の推移

年 月 日	基 準 価 額		株 式 組 入 比 率	債 券 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率	債 券 先 物 比 率
	円	騰 落 率				
(期 首) 2022年1月27日	38,776	—%	98.6%	—%	—%	—%
1月末	39,435	1.7%	99.1%	—	—	—
2月末	38,916	0.4%	98.5%	—	—	—
3月末	41,881	8.0%	98.4%	—	—	—
4月末	41,005	5.7%	97.2%	—	—	—
5月末	40,154	3.6%	98.4%	—	—	—
6月末	39,381	1.6%	99.3%	—	—	—
7月末	41,528	7.1%	97.0%	—	—	—
8月末	41,023	5.8%	97.3%	—	—	—
9月末	38,205	△1.5%	99.5%	—	—	—
10月末	41,647	7.4%	98.9%	—	—	—
11月末	40,827	5.3%	96.8%	—	—	—
12月末	38,930	0.4%	97.9%	—	—	—
(期 末) 2023年1月27日	40,778	5.2%	99.1%	—	—	—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 株式先物比率、債券先物比率は買建比率－売建比率。

■投資環境（2022年1月28日～2023年1月27日）

当期の世界株式市場はレンジ内で上下する動きとなったのち、期間を通じては下落となりました。

期初には米国主要企業の四半期決算が失望含みとなったほか、ロシアによるウクライナ侵攻、そして米連邦準備制度理事会（FRB）を中心とした各国金融当局による引き締め姿勢が嫌気されて、グロース株を中心としてバリュエーションが切り下がり、株式市場は下落しました。その後もインフレ指標はサプライチェーンの混乱に加え、ロシア／ウクライナ情勢を受けた資源・エネルギー高により上昇圧力がかかると、株式市場は一段安となり、途中バリュエーション調整が進んだハイテック株やグロース株中心に物色する動きがあるも、ジャクソンホール経済シンポジウムでパウエル連邦準備制度理事会（FRB）議長が厳格な金融政策を継続する姿勢を示したことで再び嫌気されました。月中旬以降もインフレ動向が引き続き焦点となるなか、米国の消費者物価指数（CPI）が予想を上回る伸びを示したことや英国での大幅減税案を巡る政治的不透明感が警戒されましたが、米国CPIを例として次第にインフレ指標に減速の兆しがみられたことから株式市場は底入れする動きとなり、また中国政府によるコロナ対策での長期のロックダウンが解除方向に向かうとの見方も市場心理を下支えしました。その後は依然として金融政策動向に一喜一憂する展開ながらも、期末にかけては株式市場は回復する動きとなりました。

■運用経過

期中、業種配分、銘柄選択がともにマイナス寄与となり、全体としては市場を下回るリターンとなりました。

業種配分においては、素材セクターのオーバーウェイトと情報技術のアンダーウェイトなどがプラス寄与となった一方、一般消費財のオーバーウェイトとエネルギーのアンダーウェイトなどがマイナス寄与となりました。

他方、銘柄選択においては、フィデリティ・ナショナル・インフォメーション・サービスズ（資本財）やボール・コーポレーション（素材）などがマイナス寄与となりました。

■市場見通しと今後の運用方針（2023年1月27日時点）

昨年は、ウクライナ危機による地政学リスクの高まり、インフレ圧力、各国中央銀行による金融引き締めなどにより、株式市場は大きく調整し、上値の重い展開が続きました。これにより、株式市場のバリュエーションは大きく調整し、足元では、インフレ鈍化の期待も広がりつつあるものの、今後は経済成長の鈍化やインフレ上昇によるコスト高による企業業績への影響が懸念されます。これにより、企業業績を慎重に見極めた上での銘柄選択が重要な局面が継続するものと考えます。投資方針に基づき、ボトムアップの銘柄選択により、先行きのファンダメンタルズが良好でバリュエーションが魅力的な銘柄に投資していきます。

当ファンドの運用は個別銘柄選択が収益の源泉となるボトムアップ運用であります。地域・国別に見ると、アメリカのウェイトを大きくしている他、イギリス、スペイン、スイスなどを中心に欧州地域の銘柄への配分を厚めています。一方で、アジアへの配分は抑えめにしています。当社では、ファンダメンタルズの改善余地が相対的に大きいものの、株価はそれを十分に織り込んでいない銘柄が欧州に多いと考えているためです。

※上記方針は2023年1月27日現在のものであり、今後変更される場合があります。

■ 1万口当たりの費用明細（2022年1月28日～2023年1月27日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 19 (19)	% 0.046 (0.046)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	8 (8)	0.020 (0.020)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	37 (13) (24)	0.093 (0.033) (0.060)	(c) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 ・ 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 ・ 信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	64	0.159	
期中の平均基準価額は、40,244円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買及び取引の状況（2022年1月28日から2023年1月27日まで）

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上 場	千株 -	千円 -	千株 1	千円 16,279
外国	ア メ リ カ	百株 92 (101)	千米ドル 2,518 (-)	百株 470	千米ドル 4,072
	ユ ー ロ		千ユーロ		千ユーロ
	フ ラ ン ス	-	-	23	269
	オ ラ ン ダ	103	418	78	173
	ス ペ イ ン	737	399	1,132 (-)	690 (4)
	フィンランド	43	167	70	297
	イ ギ リ ス	77	千英ポンド 581	456	千英ポンド 1,170
	ス イ ス	36	千スイスフラン 398	67 (-)	千スイスフラン 892 (2)
	ス ウ ェ ー デ ン	-	千スウェーデンクローナ -	95	千スウェーデンクローナ 1,118
	イ ン ド	-	千インドルピー -	96	千インドルピー 3,575

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	1,694,905千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	2,127,683千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	0.79

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

■主要な売買銘柄

株式（2022年1月28日から2023年1月27日まで）

	当				期			
	買		付		売		付	
	銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
		千株	千円	円		千株	千円	円
1	AMAZON.COM INC(アメリカ)	0.279	99,968	358,308	NESTLE SA-REG(スイス)	6	95,434	14,725
2	NESTLE SA-REG(スイス)	3	57,989	15,813	ASTRAZENECA PLC(イギリス)	4	76,965	15,656
3	INTUIT INC(アメリカ)	0.926	50,177	54,187	BANCO BILBAO VIZCAYA ARGENTA(ユーロ・スペイン)	106	72,930	686
4	KONINKLIJKE DSM NV(ユーロ・オランダ)	2	46,844	20,536	ACCENTURE PLC-CL A(アメリカ)	1	59,867	39,542
5	BANCO BILBAO VIZCAYA ARGENTA(ユーロ・スペイン)	72	44,713	616	MARSH & MCLENNAN COS(アメリカ)	2	57,401	22,326
6	NVIDIA CORP(アメリカ)	2	39,020	18,276	FIDELITY NATIONAL INFORMATION SERVICES(アメリカ)	6	56,606	8,951
7	BURLINGTON STORES INC(アメリカ)	1	35,256	21,187	COMPASS GROUP PLC(イギリス)	17	53,367	3,041
8	FERGUSON PLC(イギリス)	2	34,809	15,815	BOSTON SCIENTIFIC CORP(アメリカ)	9	49,938	5,212
9	ACCENTURE PLC-CL A(アメリカ)	0.756	28,560	37,778	NESTE OYJ(ユーロ・フィンランド)	7	41,823	5,938
10	ASTRAZENECA PLC(イギリス)	1	23,934	17,256	ALPHABET INC-CL A(アメリカ)	0.853	40,669	47,678

(注) 金額は受渡し代金。

■利害関係人との取引状況等（2022年1月28日から2023年1月27日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細（2023年1月27日現在）

(1) 国内株式

銘柄	株数	期首（前期末）	当期		期末
		株数	株数	評価額	評価額
電気機器（100.0%）			千株	千株	千円
日本電産	4.7		2.8		20,692
キーエンス	1.2		1.2		71,268
合計		5	4		91,960
	株数・金額 銘柄数<比率>	5 2	4 2		<4.8%>

(注1) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注2) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(2) 外国株式

銘柄	期首（前期末）		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
AMERICAN TOWER CORP	28	23	517	67,053	不動産
BALL CORP	84	74	424	55,022	素材
BOSTON SCIENTIFIC CORP	218	122	568	73,699	ヘルスケア機器・サービス
BURLINGTON STORES INC	18	21	492	63,765	小売
WALT DISNEY CO/THE	41	45	496	64,384	メディア・娯楽
ELANCO ANIMAL HEALTH INC	146	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
FIDELITY NATIONAL INFORMATION SERVICES	63	—	—	—	ソフトウェア・サービス
MARSH & MCLENNAN COS	50	24	428	55,475	保険
MARTIN MARIETTA MATERIALS	12	9	327	42,377	素材
NIKE INC -CL B	27	21	274	35,581	耐久消費財・アパレル
PROCTER & GAMBLE CO/THE	47	27	381	49,405	家庭用品・パーソナル用品
S&P GLOBAL INC	14	15	577	74,793	各種金融
XYLEM INC	38	29	302	39,249	資本財
ACCENTURE PLC-CL A	17	9	268	34,759	ソフトウェア・サービス
ALPHABET INC-CL A	3	46	452	58,651	メディア・娯楽
AMAZON.COM INC	—	43	433	56,176	小売
INTUIT INC	6	12	518	67,202	ソフトウェア・サービス
MICROSOFT CORP	22	17	429	55,599	ソフトウェア・サービス
NVIDIA CORP	—	19	385	49,962	半導体・半導体製造装置
小 計	株 数 銘 柄	株 数 銘 柄	金 額 数<比 率>	金 額 数<比 率>	
	842	564	7,278	943,160	
	17	17	—	<49.7%>	
(ユーロ…フランス)			千ユーロ		
SAFRAN SA	23	—	—	—	資本財
小 計	株 数 銘 柄	株 数 銘 柄	金 額 数<比 率>	金 額 数<比 率>	
	23	—	—	—	
	1	—	—	<-%>	
(ユーロ…オランダ)					
KONINKLIJKE DSM NV	22	37	447	63,157	素材
DAVIDE CAMPARI-MILANO NV	270	280	271	38,250	食品・飲料・タバコ
小 計	株 数 銘 柄	株 数 銘 柄	金 額 数<比 率>	金 額 数<比 率>	
	293	317	718	101,407	
	2	2	—	<5.3%>	
(ユーロ…スペイン)					
MERLIN PROPERTIES SOCIMI SA	211	166	149	21,063	不動産
AMADEUS IT GROUP SA	75	62	363	51,369	ソフトウェア・サービス
BANCO BILBAO VIZCAYA ARGENTA	1,153	817	524	74,025	銀行
小 計	株 数 銘 柄	株 数 銘 柄	金 額 数<比 率>	金 額 数<比 率>	
	1,441	1,046	1,037	146,457	
	3	3	—	<7.7%>	
(ユーロ…フィンランド)					
NESTE OYJ	111	84	384	54,222	エネルギー
小 計	株 数 銘 柄	株 数 銘 柄	金 額 数<比 率>	金 額 数<比 率>	
	111	84	384	54,222	
	1	1	—	<2.9%>	
ユーロ計	株 数 銘 柄	株 数 銘 柄	金 額 数<比 率>	金 額 数<比 率>	
	1,869	1,448	2,140	302,087	
	7	6	—	<15.9%>	
(イギリス)			千英ポンド		
DS SMITH PLC	851	670	237	38,228	素材

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
ASTRAZENECA PLC	81	46	千英ポンド 496	千円 79,799	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
RECKITT BENCKISER GROUP PLC	64	60	339	54,622	家庭用品・パーソナル用品	
COMPASS GROUP PLC	299	124	237	38,148	消費者サービス	
INTERCONTINENTAL HOTELS GROU	65	70	398	64,085	消費者サービス	
FERGUSON PLC	30	43	481	77,485	資本財	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,393 6	1,014 6	2,191 -	352,370 <18.6%>	
(イス)			千スイスフラン			
NESTLE SA-REG	63	35	390	55,014	食品・飲料・タバコ	
ZURICH INSURANCE GROUP AG	13	10	482	67,938	保険	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	77 2	46 2	872 -	122,952 <6.5%>	
(スウェーデン)			千スウェーデンクローナ			
HEXAGON AB-B SHS	449	353	4,139	52,278	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	449 1	353 1	4,139 -	52,278 <2.8%>	
(インド)			千インドルピー			
CROMPTON GREAVES CONSUMER EL	437	341	11,207	17,932	耐久消費財・アパレル	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	437 1	341 1	11,207 -	17,932 <0.9%>	
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	5,069 34	3,769 33	- -	1,790,782 <94.3%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する株式評価額の比率。

(注3) 株数・評価額の単位未満は切捨て。

(注4) -印は組入れなし。

■投資信託財産の構成 (2023年1月27日現在)

項目	当期	期末
	評価額	比率
株式	千円 1,882,742	% 99.1
コール・ローン等、その他	16,616	0.9
投資信託財産総額	1,899,358	100.0

(注1) 当期末における外貨建純資産（1,799,771千円）の投資信託財産総額（1,899,358千円）に対する比率は94.8%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、決算日における邦貨換算レートは1米ドル=129.59円、1ユーロ=141.14円、1英ポンド=160.78円、1スイスフラン=140.90円、1スウェーデンクローナ=12.63円、1オーストラリアドル=92.27円、1香港ドル=16.54円、1インドルピー=1.60円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	当 期 末
	2023年1月27日
	円
(A) 資 産	1,908,917,991
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	14,055,492
株 式(評価額)	1,882,742,449
未 収 入 金	9,586,550
未 収 配 当 金	2,533,500
(B) 負 債	9,559,313
未 払 金	9,559,296
未 払 利 息	17
(C) 純 資 産 総 額(A - B)	1,899,358,678
元 本	465,782,965
次 期 繰 越 損 益 金	1,433,575,713
(D) 受 益 権 総 口 数	465,782,965口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額(C / D)	40,778円

■損益の状況

項 目	当 期
	自 2022年1月28日 至 2023年1月27日
	円
(A) 配 当 等 収 益	33,935,616
受 取 配 当 金	33,939,711
受 取 利 息	3
そ の 他 収 益 金	3,139
支 払 利 息	△7,237
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	74,886,598
売 買 益	382,958,541
売 買 損	△308,071,943
(C) 保 管 費 用 等	△1,915,456
(D) 当 期 損 益 金(A + B + C)	106,906,758
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	1,728,065,649
(F) 解 約 差 損 益 金	△401,396,694
(G) 計 (D + E + F)	1,433,575,713
次 期 繰 越 損 益 金(G)	1,433,575,713

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。

(注3) 期首元本額600,526,676円、期中追加設定元本額0円、期中一部解約元本額134,743,711円。

(注4) 元本の内訳 グローバル・フォーカス株式ファンド（適格機関投資家専用）465,782,965円

国内短期公社債マザーファンド 運用報告書

第15期 (決算日 2023年10月31日)

(計算期間 2022年11月1日～2023年10月31日)

国内短期公社債マザーファンドの第15期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則、無期限です。
運用方針	主として本邦通貨建ての公社債に投資することにより、安定した収益の確保を目指した運用を行います。
主要投資対象	本邦通貨建ての公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

■最近3期の運用実績

決算期	基準価額	期騰落中率		債組入比率	債先物比率	純資産額
		期騰	落中率			
13期(2021年11月1日)	円 10,068	% △0.0		% -	% -	百万円 77
14期(2022年10月31日)	10,066	△0.0		-	-	178
15期(2023年10月31日)	10,064	△0.0		62.5	-	176

(注1) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

(注3) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

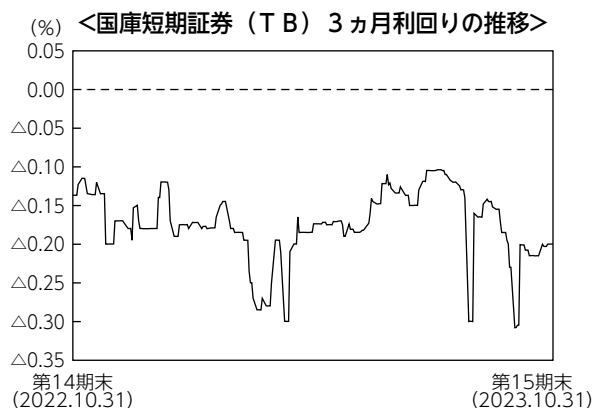
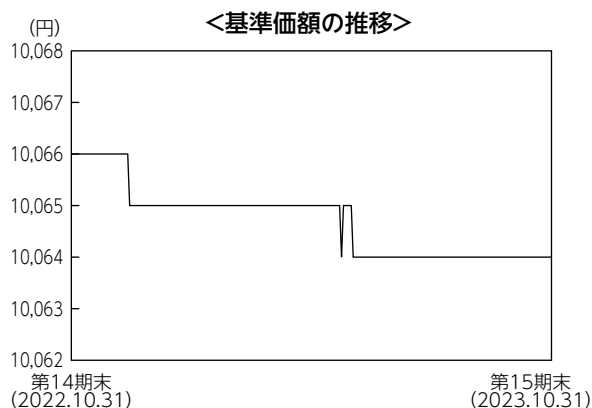
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
(期 首) 2022年10月31日	円 10,066	% -	% -	% -
11 月 末	10,066	0.0	-	-
12 月 末	10,065	△0.0	-	-
2023年 1 月 末	10,065	△0.0	-	-
2 月 末	10,065	△0.0	-	-
3 月 末	10,065	△0.0	-	-
4 月 末	10,065	△0.0	57.0	-
5 月 末	10,065	△0.0	56.9	-
6 月 末	10,064	△0.0	56.9	-
7 月 末	10,064	△0.0	56.9	-
8 月 末	10,064	△0.0	56.9	-
9 月 末	10,064	△0.0	56.8	-
(期 末) 2023年10月31日	10,064	△0.0	62.5	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2022年11月1日から2023年10月31日まで）



※国庫短期証券（TB）3ヵ月利回りの低下は価格の上昇を示し、逆の場合は下落したことを示します。

基準価額の推移

当ファンドの基準価額は1万口あたり10,064円となり、前期末の同10,066円から△0.02%下落しました。

基準価額の主な変動要因

保有債券の利息収入などのプラス要因はありましたが、保有債券の価格下落やマイナス金利の影響が大きく、前期末比で基準価額は下落しました。

投資環境

国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りは日銀がマイナス金利政策を含む大規模な金融緩和政策を継続している影響により、マイナス圏で推移しました。

ポートフォリオについて

残存期間の短い地方債などで運用を行いました。

今後の運用方針

日銀は2023年10月の金融政策決定会合で、長期金利操作の運用を一段と柔軟化し、10年国債利回りの上限について1.0%を上回る水準を容認する姿勢を示しました。しかし、日銀は消費者物価指数が前年比2%の上昇となる物価安定の目標達成には距離があるとしており、引き続き緩和的な金融政策を維持するものと見られます。そのため、今後も公社債などへの投資を通じて、安定的な運用を目指します。

■1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

■売買及び取引の状況（2022年11月1日から2023年10月31日まで）

公社債

		買付額	売付額
国	内 地方債証券	千円 110,582	千円 (-)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利分は含まれておりません）。

(注2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■利害関係人との取引状況等（2022年11月1日から2023年10月31日まで）

期中の利害関係人との取引状況

区 分	当 期			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
公 社 債	百万円 110	百万円 40	% 36.4	百万円 -	百万円 -	% -

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	当 期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
地 方 債 証 券	千円 110,000	千円 110,205	% 62.5	% 62.5	% -	% -	% 62.5
合 計	110,000	110,205	62.5	62.5	-	-	62.5

(注1) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 無格付銘柄については、B B 格以下に含めて表示しています。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債銘柄別

銘柄	当		期		末
	利率	額面金額	評価額	額	償還年月日
(地方債証券)	%	千円	千円		
25年度1回 滋賀県公募公債	0.6500	30,000	30,015		2023/11/29
131回 共同発行市場公募地方債	0.6600	40,000	40,079		2024/02/23
381回 大阪府公募公債 10年	0.6830	30,000	30,066		2024/02/27
26年度3回 広島県公募公債	0.5500	10,000	10,043		2024/09/25
合計	-	110,000	110,205		-

■投資信託財産の構成

2023年10月31日現在

項目	当		期		末
	評価額	額	比	率	
公社債		千円		%	
		110,205		62.5	
コール・ローン等、その他		66,150		37.5	
投資信託財産総額		176,355		100.0	

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年10月31日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	176,355,838円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	65,977,655
地 方 債 証 券(評価額)	110,205,101
未 収 利 息	171,726
前 払 費 用	1,356
(B) 負 債	-
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	176,355,838
元 本	175,232,326
次 期 繰 越 損 益 金	1,123,512
(D) 受 益 権 総 口 数	175,232,326口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,064円

(注1) 期首元本額 177,556,900円
 追加設定元本額 -円
 一部解約元本額 2,324,574円

(注2) 期末における元本の内訳

フロンティア・ワールド・インカム・ファンド	99,744,150円
ハイブリッド証券ファンド円コース	27,208,015円
ハイブリッド証券ファンド米ドルコース	3,391,713円
ハイブリッド証券ファンド豪ドルコース	4,489,701円
ハイブリッド証券ファンドブラジルリアルコース	16,175,679円
ハイブリッド証券ファンドインドルピーコース	2,228,133円
ハイブリッド証券ファンド中国元コース	1,130,574円
ハイブリッド証券ファンド南アフリカランドコース	236,700円
ハイブリッド証券ファンドメキシコペソコース	8,032,854円
ハイブリッド証券ファンドトルコリラコース	1,090,474円
ハイブリッド証券ファンドマネープールファンド	955,242円
新光グローバル・ハイイールド債券ファンド円コース	1,392,481円
新光グローバル・ハイイールド債券ファンド米ドルコース	99,759円
新光グローバル・ハイイールド債券ファンド豪ドルコース	1,193,555円
新光グローバル・ハイイールド債券ファンドブラジルリアルコース	6,365,626円
新光グローバル・ハイイールド債券ファンドマネープールファンド	962,972円
フロンティア・ワールド・インカム・ファンド(年1回決算型)	494,968円
グローバル・フォーカス(毎月決算型)	39,730円
期末元本合計	175,232,326円

■損益の状況

当期 自2022年11月1日 至2023年10月31日

項 目	当 期
(A) 受 取 利 息 等 収 益	338,324円
受 取 利 息	382,165
支 払 利 息	△43,841
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△377,099
売 買 損 益	△377,099
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	△38,775
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	1,177,396
(E) 解 約 差 損 益 金	△15,109
(F) 合 計(C+D+E)	1,123,512
次 期 繰 越 損 益 金(F)	1,123,512

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。